

<b>Teacher(s)</b>	宇藤 陽香	<b>Subject group and discipline</b>	言語と文学	<b>Program</b>	MYP
<b>Unit title</b>	「語り」は物語に何をもたらすのか	<b>MOIS Year</b>	1	<b>Unit duration (terms)</b>	18Term

**INQUIRY: Establishing the purpose of the inquiry**

<b>Learner Profile ・ 学習者像</b>		
探究する人		
<b>Key concept ・ 重要概念</b>	<b>Related concept(s) ・ 関連概念</b>	<b>Global context ・ グローバルな文脈</b>
ものの見方	受け手側の受容・視点	公正性と発展
<b>Statement of inquiry ・ 探究テーマ</b>		
物語の「語り」は、語り手がそれを意識する・しないに関わらず、ある面からの見方を読み手に提示する。		
<b>ROK ・ TOK Connections</b>	<b>Knowledge Questions ・ 知識に関する問い</b>	
作品における「語り」の役割の探究から「語り」と作者の関係にも思索を広げ、文学の価値や意義への探究につながる。	12. 知識の生産においてバイアスを避けることは不可能なのか。 19. どのようなものが、主張を有効に正当化するものと見なされるのか。 35. 価値観は、知識の生産にどのように影響するか。	
<b>Inquiry questions ・ 探究の問い（代表的なものを記載）</b>		
<b><u>Factual ・ 事実的問い:</u></b>		
・ この物語ではどのような登場人物・出来事が描かれているか。語り手はエーミールをどう評価しているか。「僕」の行動の理由は何か。		
<b><u>Conceptual ・ 概念的問い:</u></b>		
・ 物語/小説における語り手の役割は何か。語り手は登場人物を平等に描くか。語り手が描かない部分を読み手はどう理解するか。		
<b><u>Debatable 議論的問い:</u></b>		
・ 何かを伝えるとき、平等であることはできるか。与えられた情報が公平なものだとどのように判断できるか。		

Objectives ・ 目標	Summative assessment ・ 総括評価課題	
<p>A- iii ・ 例、説明、用語を用いて、意見や考えの理由を述べる。</p> <p>A- iv ・ ジャンルやテキスト内、および複数のジャンルやテキスト間で特徴の類似点と相違点を解釈する。</p> <p>B- i ・ 文脈と意図に応じた組織的構造を採用する。</p> <p>C- i C- ii ・ 創造的プロセスへの個人的な関わりから生じる新しいものの見方やアイデアを探究し検討しながら、思考、想像力、感受性を示すテキストを創作する。</p> <p>D- ii D- iii D- iv ・ 適切な言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）で書き、話す。 ・ 正しい文法、統語法、句読法を用いる。</p>	<p><b>GRASPS Statement</b></p> <p>① 2つの文章を「語り」に着目して、類似点や相違点を見つけてその特徴や効果を述べる。</p> <p>② ある新聞社のこども新聞担当者から、小学校高学年向けのわかりやすい物語を作ってほしいと依頼がありました。前ユニットやこのユニットで学習したことを生かして創作してください。</p> <p><b>Goal ・ 目的</b></p> <p>① 2つの文章を「語り」に着目して、類似点や相違点を見つけてその特徴や効果を述べる。</p> <p>② 「物語の基本構造」「語り」など学習したことを生かして創作する。</p> <p><b>Role ・ 役割</b> 小説の作者</p> <p><b>Audience ・ 相手</b> 小学校高学年（5，6年生）</p> <p><b>Situation ・ 状況</b> ある新聞社のこども新聞担当者から、小学校高学年向けのわかりやすい物語を作ってほしいという依頼にこたえる。</p> <p><b>Product/performance ・ 成果物</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析レポート</li> <li>・ 創作文</li> </ul> <p><b>Standard ・ スタンダード</b> 物語の「語り」が提示した見方を読みとる。</p>	<p><b>Connection between the summative assessment and the statement of inquiry</b> 総括的評価と探究テーマとのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「語り」が一人称と三人称の作品を読み比べることによって、何を読み取らされているかに気付く。</li> <li>・ 伝えたいこと、表現したいことを吟味しながら物語を創作することで「語り」の役割を認識する。</li> </ul>

Approaches to learning (ATL)	ATLと「主体的に学習に取り組む態度」の評価とのつながり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「創造的思考スキル」思考の可視化の方法やテクニックを実践する。</li> <li>・「協働スキル」合意を形成する。</li> <li>・「批判的思考スキル」多角的なもの見方に基づきアイデアを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『少年の日の思い出』の出来事や人物関係について、つながりや構成が明確な図式化をする。</li> <li>・班の話合いで課題テーマを1つに決定させ、解決に向けて豊富な根拠と分析をもって課題解決に積極的に関わっている。</li> <li>・「語り」の特徴や効果を多角的にとらえている。</li> </ul>

**ACTION: Teaching and learning through inquiry**

Content Term または、小単元	Learning process		
	Learning experiences and teaching strategies・学習活動と指導のアプローチ	Formative assessment・形成的評価	Differentiation・個別最適化
1. 導入【①/9】	①Unitの流れ・総括的評価課題・ルーブリックを確認する。 ②『オツベルと象』の「語り」について考える。	・「牛飼い」の役割を理解しているかワークシートで確認する。	・「役割」に気付けない場合は、「牛飼い」の視点で描かれた表現を見つけて線を引かせる。
2. 物語を読む【①②/9】	①『少年の日の思い出』を読む。初読の感想や疑問を書く。 ②『少年の日の思い出』の出来事や人物関係を図式化する。(Core ATL「Visual Thinking」)	・額縁構造、登場人物の関係、出来事の流れがまとまっているかを確認する。	・箇条書きになっている場合は、国語便覧を参照させる。
3. 物語を読み深める【②③④/9】	①グループで『少年の日の思い出』を読み深めるための課題テーマを設定する。 ②課題テーマについてグループで話し合う。(ATL「協働スキル」) ③発表準備をする。	・感想や疑問をもとに、作品全体を読んで解決する課題テーマであるか確認する。 ・本文を分析し、解決の過程を論理的にまとめ、解決しているか確認する。	・課題テーマがまとまらない場合は、グループで出た疑問を分類させ、解決させたい事柄を解決できるような包括的な文言にさせる。

4. 「語り」について考える 【⑤/9】	①各グループの発表を聞き合う。  ②課題解決を生かして「語り」を変えてリ ライトする。 ③リライトした文での「語り」の工夫を共 有する。	・各グループの発表から新たな気付きや 学びをメモしているか確認する。  ・部分的なリライトであるが、前後の内 容をふまえて描いているか確認する。	・リライトが進まない場合は、原文の「僕」 の視点の表現と、事実を区別して線を引か せる。
5. 「語り」について分析す る 【⑥/9】	①『桜蝶』の「語り」を比較し、類似点や 相違点を見つけて、特徴や効果を述べる。 (個人→共有) (ATL「批判的思考スキル」) ②探究テーマを考える。	・『桜蝶』の A と B の類似点と相違点、 「語り」の特徴をまとめているか確認す る。	・特徴が見つけられない場合は、A,B それ ぞれに描かれている内容を挙げさせる。
6. 総括的評価課題に取り 組む【⑦⑧⑨/9】			

## Resources

『少年の日の思い出』 ヘルマン＝ヘッセ 高橋健二 訳

『桜蝶』 田丸雅智

国語便覧 浜島書店

**REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry**

Prior to teaching the unit (指導前)	During teaching (指導中)	After teaching the unit (指導後)
<p>・前 Unit では、文学的文章を読み深めるための課題テーマを設定し、「物語の基本構造」を活用しながら分析、課題解決する学習活動を行った。課題テーマに対する答えを本文中の言葉や表現</p>	<p>・課題解決の際は、個人で考える時間とグループで話し合う時間をしっかり分けて取り組ませる。 ・視点を変えるリライトは主語を変えるだけではないことを認識させる。</p>	<p>・総括的評価課題の創作について、『少年の日の思い出』の額縁構造や『桜蝶』ABの書き方を参考にしたために、分りにくい作品になってしまうものがあったので、生徒の表現のスキルと理解を図れるような指示が必要。</p>

を根拠にして、筋道立てて述べることを総括的評価課題で課した。		
--------------------------------	--	--